

令和8年3月18日

大山町議長 吉原美智恵様

大山町議会議員 大原広已

令和7年大山町議会議員研修報告書

1. 日時	令和8年2月2日～3日
2. 研修地	滋賀県大津市全国市町村国際文化研究所
3. 研修名	人口減少社会における地域の課題
4. 研修内容	<p>①人口減少のメカニズムと地方創生</p> <p>②人口減少が引き起こす地域課題 熊本大学副学長 研究開発戦略本部 金岡省吾教授</p> <p>③人口減少社会における取り組み(1)</p> <p>④人口減少社会における取り組み(2)</p> <p>⑤地域の課題解決に向けて 熊本県八代市経済文化交流部 小早川正人氏 鶴山朋子氏 熊本大学政策研究院 境 一磨氏</p> <p>前半は金岡教授による、全国の人口減少対策の事例や課題を聞く。行政と民間企業、大学との連携や、住民との関わりの有様など、熊本県の取り組みを中心に近代の状況を聞いた。特に熊本市と熊本大学の連携協力は一時的な対策でなく、今後も引き継がれる力強さが感じられた。ただ、人口の多い都市部の例が多く、郡部の町村とは温度差や、内容には少しズレのあるところを感じた。</p>
5. まとめ	<p>地方創生がかかげられて10年以上が経過したが、まだまだ成果が出てきたとは思えない。今後、町のあり方には工夫が必要である。</p> <p>人口減少による行政の再編やインフラの修繕など難題が待っている。また、住人に持続可能な地域を提供できなければ人口流出も続く。本町は、高校、大学も遠く、若い世代にいかに残ってもらえるか、教育、交通、観光、産業、福祉などの対策を縮小しながらでも充実させていかねばならない。本町の対策の方向性は間違っていないと感じた。</p> <p>最後に、今回は講義を聞くだけでなく、他県の議員と講義ごとに席を移動し会話できる時間が組まれており、大変有意義な時間となった。</p>